

「ヨコハマ・ドリームを語ろう会」開催について

横浜地域活性メディア ヨコハマNOW

2010年9月

シンポジウム「ヨコハマドリームを語ろう会」開催趣旨

1859(安政6)年の横浜開港当時は、たった100世帯しかなかった横浜村。

1889(明治22)年に横浜市誕生時には、人口12万人。

1909(明治42)年の横浜開港50周年の年には、人口40万人の都市になっていました。

人口の増加は、産業の隆盛を物語っています。それは、横浜には日本発祥が沢山あることに裏づけされています。

きっと日本各地から、一旗揚げようと横浜に集まって来たのだと想像できます。

当時のこの気運を、私たちは『ヨコハマ・ドリーム』と名付けました。

『ヨコハマ・ドリーム』を、“新しい産業の創造と新しい雇用の創造”と定義し、

明治期の『ヨコハマ・ドリーム』の根っこを掘り下げ、現代の『ヨコハマ・ドリーム』を起こす手がかりにしたい。

中小企業家同友会の皆さんと若者が参加して、現代の『ヨコハマ・ドリーム』を起こす手がかりを創りたい。

以上が、開催趣旨です。

(若者は、大学生・院生、起業を目指す20代を想定)

シンポジウム「ヨコハマドリームを語ろう会」開催概要

日時:10月20日(水) 18:30~21:00

場所:横浜市開港記念館

プログラム

第1部:基調講演「幕末・明治のヨコハマ・ドリームを検証」(30分)

横浜乾物株式会社 取締役会長

齊藤 秋造 氏

休 憩 (10分)

第2部:パネルディスカッション (60分)

パネリスト

セグウェイジャパン株式会社 代表取締役社長

大塚 寛 氏

株式会社 新藤 代表取締役社長

藤澤 徹 氏

横浜国立大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

船場 ひさお 氏

コーディネーター

株式会社ともクリエイションズ 代表取締役社長

渡邊 桃伯子 氏

意見交換 (30分)